変わりゆく三休橋筋のいまを歩く

--- 上を向いてゆっくり歩こう 緑と灯りのプロムナード













三休橋筋は中之島の中央公会堂近くの栴檀木橋(せんだんのきばし)から長堀通までの約2km、御堂筋と堺筋のちょうど真ん中を南北に通る道です。中之島からミナミの島之内を結ぶ補助幹線として、大正時代に拡幅(7間=12.7m)が計画され、御堂筋と同じ昭和初期に整備されました。この三休橋筋の周辺には、数多くの近代建築や昔のたたずまいを見せる旧家が残っています。また、適度な道幅と緑豊かな街路樹が、大阪の都心とは思えない心地よい空間を生み出しています。。

歴史豊かな都心のストリート

船場を南北に貫くこの通りの両側には、金融の今橋、薬の道修町、繊維の南本町、問屋街の南久宝寺、若者の街となった南船場など、特徴的なまちが連なっており、大阪の歴史の断面を感じることができます。ぜひこの地に積み重ねられてきた歴史を感じてください。

三休橋筋の名前は、長堀川にかけられていた三休橋に由来します。 船場と島之内を結ぶ長堀橋、中橋、心斎橋の3つの橋の通行量を減 らすことから三休橋と名付けられたといわれています。多くの橋が 鉄橋に架け替えられる中、三休橋だけは1962年に長堀川の埋め立て で撤去されるまで木製橋でした。

変わりゆく三休橋筋

船場を再び魅力あるまちに再生するためのひとつとして、歩道を広げて歩きやすく、電線のない美しい通りにする工事が進められています。工事に合わせて、近代建築の残るレトロな街並みに似合うガス燈が整備され、街路樹もこれまでの「トウカエデ」から「センダン」へ植え替えられます。また、地域の人たちによる組織が立ち上がり、魅力アップを目指した様々な活動も生まれてきました。将来はきっと緑のトンネルとほのかな灯りが美しい都心のオアシスとなることでしょう。そんな変わりゆく三休橋筋のいまを感じてください。

地元と行政の協働作業

三休橋筋プロムナード整備



大阪市建設局によって、三休橋筋のプロムナード整備(歩道拡幅と電線地中化工事)が進められている。特徴的なのは、これまでに地元意見交換会が10回開かれ、そこで舗装の仕様や街路樹の樹種が決められていることだ。また、その官民協働の動きに呼応するように、地元企業などによるガス燈寄贈の提案があり、現実のものとなっている。

道路は2010年までに土佐堀通から中央大通まで整備される。沿道のレトロなビル、オシャレなお店、そしてガス燈のベストマッチで、三休橋筋は大阪で一番の「歩きたい道」になるだろう。

船場の連絡会議

せんば GENKI の会



三休橋筋は、土佐堀通から長堀通まで、「船場(せんば)」と呼ばれる大阪都心部を貫く道だ。その回りでは、「船場が元気になると、大阪も変わる!」と、さまざまなグループが色々な活動を行っている。しかしパラバラに活動をするよりも、お互いを知り合い、協力できれが効果的だと作られたのが「せんばGENKIの会」。現在は船場の23の活動団体がゆるやかに連携しながらネットワーク、プロモーション、プロデュースのため、船場フォーラムを毎年開催し、船場の未来について討論と情報発信を行っている。

HP ▶ http://www.semba-genki.net

三休橋筋が商店街?

三休橋筋商業協同組合

ポツリポツリと増えてきた三休橋筋のオシャレなお店。これらのお店や地元の企業などが加わり、三休橋筋の美化やイメージアップを目指した活動を始めている。その母体となるのが「三休橋筋商業協同組合」。商業協同組合というのは大阪府の認可を受けた商店街の運営組織。まちの景観維持と活性化を目指すストリート広告等の実施主体にもなれるよう、三休橋筋では公共的な役割を持つ商業協同組合の形をとっている。実はガス燈の維持管理もこの商業協同組合が行なっている。また毎年6月には、近代建築を会場にフランス食のイベント「ハッピーアペリティフ」を開催している。



HP ► http://www.3984st.com

三休橋筋の立役者達

京阪地下通路の三休橋筋パネル展示



つい数年前まで、三休橋筋は地元の人かタクシーの運転手さんぐらいしか知らない、埋もれた通りだった。その通りが大きく変り始めたのは、三休橋筋の魅力に気づいた数名の人たちが出会い、まちの魅力と夢を語るようになったから。そのネットワークが拡がり、大阪市のプロムナード整備がスタートし、ガス燈が寄付され、新しいお店ができ、まちが大きく変化し始めた。

京阪北浜駅から西に延びる地下通路には、三休橋筋に関わっている人たちが紹介されている。 どんな人たちか、一度、見てみては?

たこ老いろのもというとします。 オーナイロプロのではり縁

三体複類のいまを張く変わりゆく

泉森が大きまるもまってい

大阪発見まちあるきツアーマップについて

本マップは、大阪商工会議所が、市民やまちあるきガイドとのコミュニケーションを通じて、大阪の街を歩いて楽しむことができるよう、三休橋筋愛好会とともに、企画、製作したものです。マップ片手に大阪のあちこちを巡り、大阪の歴史や文化に触れながら、新たな魅力発見を楽しんでください。

三休橋筋愛好会について

三休橋筋愛好会は『大阪の魅力を増やし・伝える』ための自主活動グループです。大阪を歩き、大阪を知り、大阪の人たちと交流しながら、大阪に根ざした魅力を提案し・発信していく、そんな活動を続けています。私たちの動きはささやかなものかもしれません。でもそんないろんな活動が知恵を出しながらぶつかって、集まって、大阪はおもしろくなっていくと信じています。時には名前を変え、姿を変えながら、いつか『あなたのまわりのその魅力に、実は私たちがお手伝いしている』そんなふうになっていることを願って、私たちは自分達ができることは何かをさがしながらこれからも活動をつづけていきます。

HP▶ 三休橋筋愛好会 HP

三休橋筋愛好会の活動内容などはこちら http://3q-ave.seesaa.net/

大阪ナイトカルチャー HP

大阪の夜をもっと楽しむためのイベント情報はこちら http://www.osaka-nightculture.com/

大阪観光HP OSAKA-INFO

大阪の観光情報を網羅したHP。宿泊施設の検索やグルメ情報も満載 http://www.osaka-info.jp/

発行:大阪商工会議所 地域振興部

2008.10

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6323 FAX:06-6944-6330 E-mail:chishin@osaka.cci.or.jp URL:http://www.osaka.cci.or.jp/

上を向いてゆっくり歩こう 緑と灯りのプロムナード 🛧

中央公会堂

建物の東正面から屋根の上を見る と子供の像が見える。これは商業 の神メルキュール(左)と科学・エ 芸の神ミネルバ(右)といい、1.7m もの高さがある。商工業が栄え、 「東洋のマンチェスター」と呼ばれ た建設当時(大正7)の想いが伝 わってくる。



画像提供:大阪ええはがき研究会

栴檀木橋

江戸時代初期に、豪商の倉や屋敷 が建ち並ぶ北浜と、諸藩の蔵屋敷 のある中之島との連絡のために架 けられた。洪水などで何度か架け替 えられており、現在のものは昭和60 年竣工。この橋詰めに栴檀の木の 大木があったことが名前の由来。



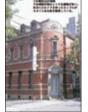
八木通商ビル

テラコッタタイルが美しいビル。出 入口の回りにはメアンダー模様の 縁取りが、また窓回りにはアラベス ク模様が使われている。タイルの 白さが印象的だが、東京駅で有名 な辰野金吾の設計で、建設時(大正 7) は赤レンガのビルだった。 国枝 博によって昭和4年に改修。



旧大中証券ビル

赤いレンガに白い石、銅板葺きの屋 根のコントラストが美しい。どこか で見たような気になるのは、東京駅 や大阪市中央公会堂、旧第一銀行 神戸支店(みなと元町駅)などを手 がけた辰野金吾の設計(明治45) だから。



浪花教会

ポインテッドアーチの窓をよく見て みよう。ステンドグラスが設けられ、 パイプオルガンが設けられた礼拝 堂の中に、柔らかな光が降り注ぐよ うになっている。日曜日は平日とは 打って変わって静かなひととき。朝 の礼拝に参加すると、この教会の すばらしさを堪能できる。



画像提供:大阪ええはがき研究会

船場ビルディング

このビルは三休橋筋拡張を機会(大 正14) に建てられた。地下と1階が メゾネットの事務所兼住宅で、荷車 の出入りのために、床に木レンガが 敷かれたそうだ。このビルの魅力 は、1階のパティオ風中庭。吹き抜 けの両側には、デザイン事務所など が面する廊下が設けられている。



画像提供:大阪ええはがき研究会

ガス燈

平成19年6月7日は三休橋筋の記念 日だ。この日、大阪市が進める三休 橋筋プロムナード整備の第1工区完 成式典として、大勢の人たちが見守る 中「ガス燈」に灯りがともされた。こ のガス燈は地元企業などから寄贈さ れ、世界的プロダクトデザイナーの喜 多俊之氏がデザインを担当している。



丸紅

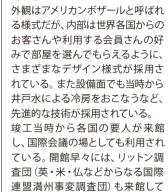
ビルの西側に、馬に乗った子供に 男女が左右から手をさしのべるレ リーフが設置されている。これは彫 刻家古賀忠雄氏による「生まれ出 ずる喜び」。丸紅旧本館ビルの壁面 に設けられたものを、新ビルへの 建て替えの際、壁ごと切り取って敷 地の一角に保存された。



画像提供:大阪ええはがき研究会

綿業会館

三休橋筋のランドマークであり、か つての繊維のまち大阪を象徴する ビルが、日本綿業倶楽部の建物で あるこの「綿業会館」(昭和6年竣 工、平成15年重要文化財に指定)。 設計は日本近代建築の先駆者的役 割を果たした建築家渡辺節で、若 き日の村野藤吾も設計にかかわっ



HP ► http://www.mengyo-club.or.jp/

いる。





船場センタービル

中央大通りの真ん中に建つこのビ ルを見上げると、ビル全体で高速 道路を支えていることが分かる。地 下には地下鉄が通り、まるで子供の 頃見た未来都市の挿絵のようだ。 万博に間に合わせるため、唐物町を 潰して1970年に完成。法律上は、 道路の真ん中に建物が建っている。

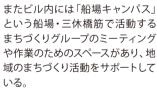


画像提供:大阪ええはがき研究会

HP ► http://www.semba-center.com/

三休橋エクセルビル

大阪市立大学・都市研究プラザが 大阪都心部で展開する実践的研究 スペース「船場アートカフェ」が入居 している。活動の目的は『芸術のも つ「接合する力」「媒介する力」に焦 点をあて、都市における芸術の可能 性を追求する試み』とあり、世界の 民俗音楽の講座や映像関連のワー クショップなど、芸術と市民をつな ぐさまざまなイベントがおこなわれ ている。





HP ► http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/

大阪農林会館

三菱商事大阪支店として建設され たが、売却の際、農林省関係の事 務所が集まって買い取ったことか ら、農林会館になったと言われてい る。大手前に合同庁舎ができて農 林省関係の事務所は少なくなり、現 在は個性的な雑貨店やデザイン系 の書店が入居している。



13) 三休橋跡

三休橋筋の名前の由来となる三休 橋は、長堀川(クリスタ長堀の場所) にかけられていた橋の一つで、それ 以前にあった心斎橋、中橋、長堀橋 の3つの橋の交通量を分担し、休ま せるようにすることから付けられた といわれている。中央区島町にあ る料亭「大乃や」の入口に、かつて の三休橋の石柱が保管されている。

